



ピアニスト、ピアノ講師
くろさわ まきこ
黒沢 真木子さん

Profile

1989年藤岡市生まれ。東京音楽大学大学院を修了。第21回県ピアノコンクール大賞。演奏活動の傍ら、主宰するピアノ教室の講師や高校の非常勤講師を務める。

人に寄り添い、音を奏でる

「一つ一つの仕事を丁寧に、1つ20点を取れるようしっかりと準備して臨んでいます」と語る黒沢さん。ピアニスト、ピアノ講師、時には高校の非常勤講師まで務める多忙な日々の中、笑顔で人と向き合い続けています。

ピアノを始めたのは4歳の時。持ち前の器用さで次々と課題をこなし夢中になっていきます。「私は手が小さいし、周りの上手な子と比べて挫折しそうになったこともあり。でも、いろいろなコンクールに挑戦してピアノと向き合う中で、やっぱり好きだなんて。大学受験の時には音楽でやっていく覚悟ができていました」と語ります。

演奏は、その時代に合った表現を大切にしていると言います。「クラシックというのは言わば伝統芸能なんです。その中で自分の色を出していくのがまた難しく。1日8時間くらい練習することもあります」と話しながらも表情はどこか楽しげです。自身のピアノの強みを尋ねると、「人と一緒に演奏するのが得意です。合わせたり、

引っ張ったり、相手が求めていることが分かる方で。そうやって仲間と一つの音楽を作り上げていくのが楽しい」と笑顔で語ります。ピアノ教室では、40人ほどの生徒を抱えています。自己表現の楽しさ・喜びを感じてもらえたらと話す一方で、ずっと続けてくれなくてもいいとも話す黒沢さん。「他の楽器を始めたり、仲間ができたり、ピアノがきっかけで少しでも人生が豊かになってくれたらいいなって」と語る表情には、生徒への思いがにじみます。

さまざまな活動を続ける原動力は、人に喜んでもらうことだそうです。「大変なこともあります。だけど、演奏で喜んでもらえたり、難しい曲が上手に弾けてうれしそうなお子様たちを見ると、頑張っただけで思えるんです。楽しませられるピアニストに、そして音楽の楽しさを伝えられるピアノ講師になりたいです」と、今後の目標を語ってくれました。